

ヘッジファンド概況（2014年3月）

2014年4月24日

資産運用研究所
アナリスト
鈴木 優子

当月（2014年3月）のヘッジファンドにおける資金動向やパフォーマンス概況は、以下の通りである。（資金動向のデータはユーリカヘッジの推計による。2014年3月のデータは、2014年4月14日時点で報告があった58.34%のファンドに基づく。）

1. ヘッジファンド資金動向

～運用残高は前月末から71億ドル増加。株式ロング・ショート戦略への純流入が寄与～

当月は、ヘッジファンド全体で10億ドルの運用損失が生じ、81億ドルが純流入した。その結果、当月末の運用残高は、前月末から71億ドルが増加し、2兆743億ドルとなった（図表1）。次に、この動向について、ヘッジファンドが採用している戦略や投資地域別に詳しくみてみよう。

戦略別にみると（図表2）、マネージドフューチャーズを戦略に採用しているヘッジファンドにおける運用損失と純流出が目立つ結果となった。運用損益においては、株式ロング・ショート、マクロ、その他の戦略においても運用損失が生じた。資金フローにおいては、株式ロング・ショートへの純流入額（67億ドル）が寄与して、全体として81億ドルの純流入となった。

投資地域別にみると（図表4）、北米と中南米において運用益が得られ、欧州、アジア（除く日本）、日本において運用損失が生じた。とりわけ、アジア（除く日本）の運用損失（7億ドル）が大きく、全体として10億ドルの運用損失となった。一方、資金フローは堅調で、中南米を除く全ての地域において純流入となり、とりわけ欧州への純流入（47億ドル）が大きかった。

2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

～リラティブバリューが首位に、マネージドフューチャーズが下位に～

ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスの直近1年間の戦略別パフォーマンス概況は以下の通りである。（インデックスの概要は巻末Appendixを参照）

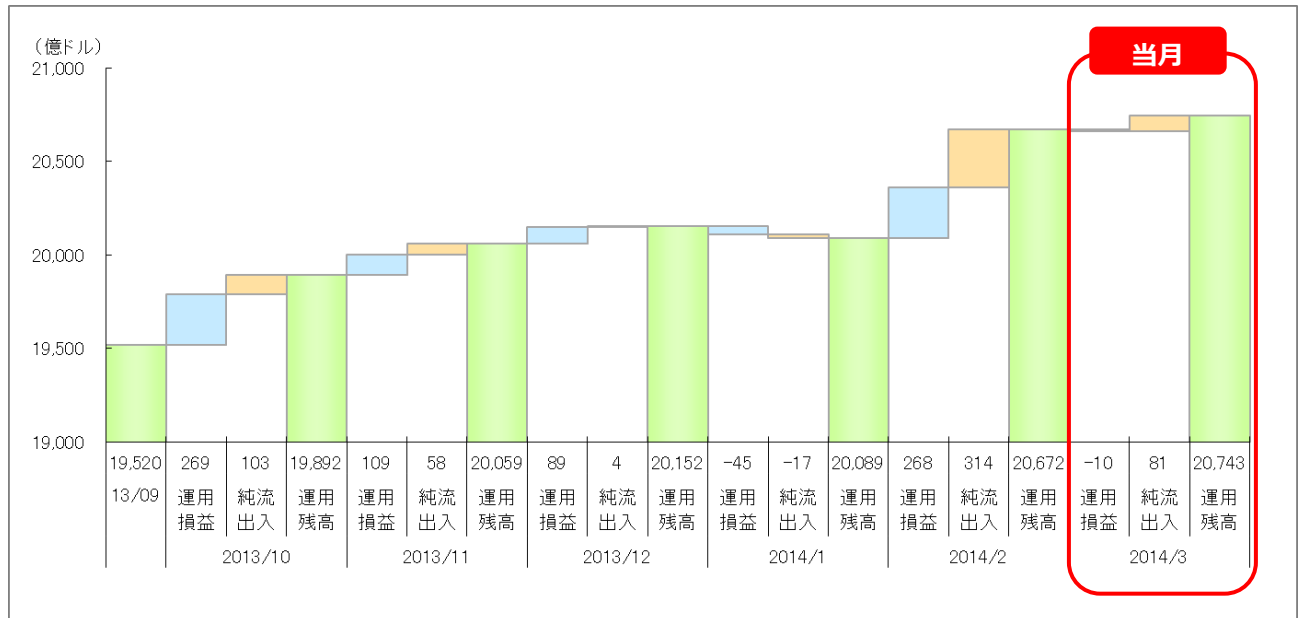
当月は、全戦略のリターンがプラスであった前月から一転して、4戦略のリターンがマイナスとなり、中でも、マネージドフューチャーズと株式ロング・ショートのマイナス幅が比較的大きかった。一方で、直近1年間は下位を推移してきたリラティブバリューが、当月は最も高いリターンを示した（図表6）。また、直近1年間では、マネージドフューチャーズのみリターンがマイナスとなっている（図表7）。

リターン対リスクの効率性における優位関係においては、前月から大きな変化はみられず、前月と同様に、上位3戦略には破綻証券、アービトラージ、イベント・ドリブンが並んでいる（図表7）。

1. ヘッジファンド資金動向

図表 1 ヘッジファンド全体の資金動向

※グラフの見方：左から順に「前月末の運用残高」「該当月の運用損益」「該当月の純流出入」、左記3点を合計した「該当月末の運用残高」が並んでいる



(参考) ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスのリターン

2013/10	2013/11	2013/12	2014/1	2014/2	2014/3
1.48%	0.86%	0.94%	-0.39%	1.62%	-0.34%

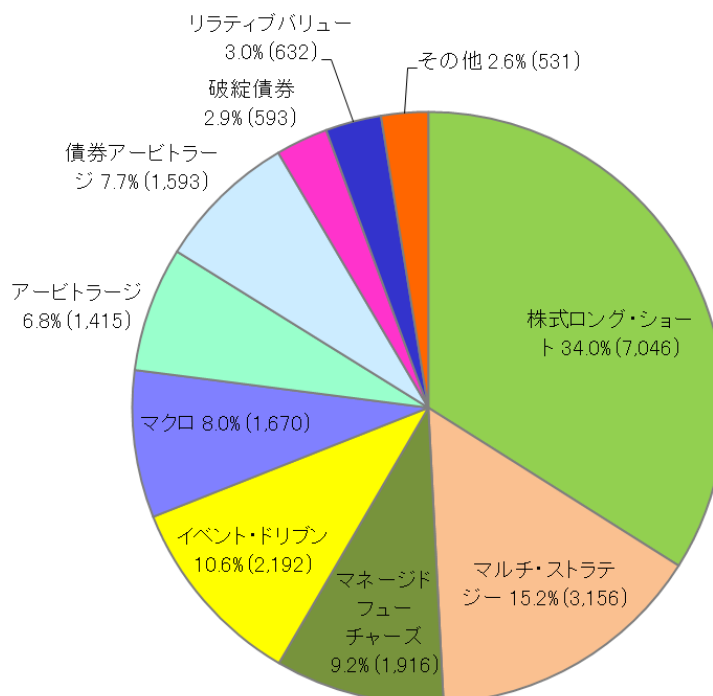
※ 当インデックスは単純平均で算出されている。データ取得日は2014年4月21日。

図表2 ヘッジファンドの戦略別資金動向

(億ドル)

投資戦略	3月末	3月末	2月末	3月中	3月中	運用損益+
	運用残高 a + b + c	構成比	運用残高 a	運用損益 b	純流出入 c	純流出入 b + c
株式ロング・ショート	7,046	34.0%	6,984	-4	67	62
マルチ・ストラテジー	3,156	15.2%	3,139	1	16	17
マネージドフューチャーズ	1,916	9.2%	1,941	-9	-16	-24
イベント・ドリブン	2,192	10.6%	2,181	1	10	11
マクロ	1,670	8.0%	1,677	-1	-7	-7
アービトラージ	1,415	6.8%	1,411	0	4	4
債券アービトラージ	1,593	7.7%	1,586	2	5	7
破綻債券	593	2.9%	591	1	1	2
リラティブバリュー	632	3.0%	631	1	0	1
その他	531	2.6%	531	-1	1	0
全体	20,743	100.0%	20,672	-10	81	71

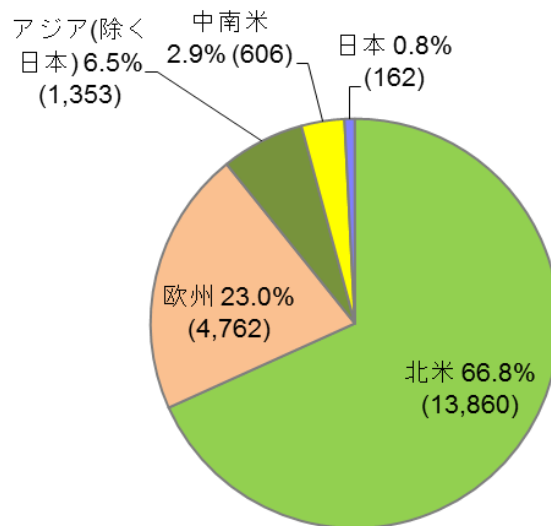
図表3 運用残高の戦略別構成比 (2014年3月末)



図表4 ヘッジファンドの投資地域別の資金動向

投資地域	3月末	3月末	2月末	3月中	3月中	運用損益+ 純流出入
	運用残高 a + b + c	構成比	運用残高 a	運用損益 b	純流出入 c	
北米	13,860	66.8%	13,839	2	18	21
欧州	4,762	23.0%	4,720	-5	47	42
アジア(除く日本)	1,353	6.5%	1,347	-7	12	6
中南米	606	2.9%	605	2	-1	1
日本	162	0.8%	160	-2	3	2
全体	20,743	100.0%	20,672	-10	81	71

図表5 運用残高の投資地域別構成比 (2014年3月末)



2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

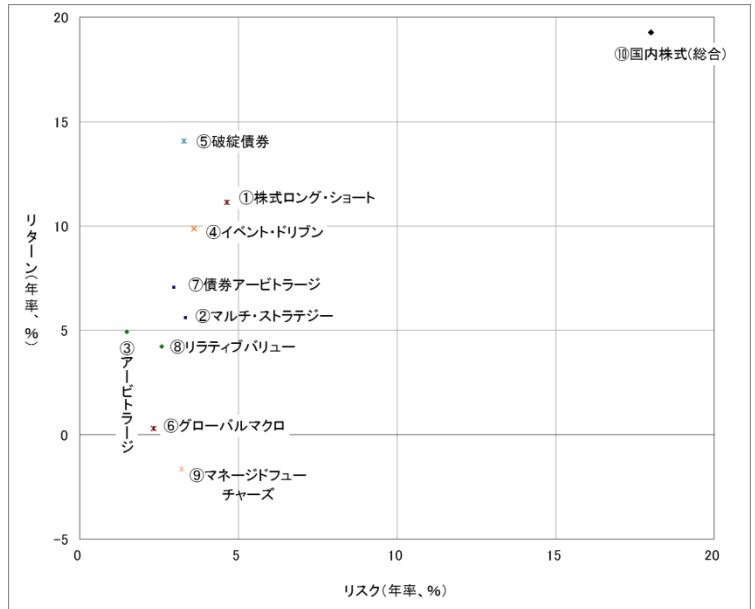
図表6 直近1年間の月次リターンの推移

戦略	2013												2014	
	/4	/5	/6	/7	/8	/9	/10	/11	/12	/1	/2	/3	/1	/2
①株式ロング・ショート	0.69	1.40	-1.64	2.11	-0.40	2.44	2.22	1.17	1.36	-0.41	2.23	-0.50		
②マルチ・ストラテジー	0.75	0.36	-1.71	1.14	-0.25	1.41	1.60	0.53	0.95	-0.71	1.18	0.28		
③アービトラージ	0.71	0.44	-0.57	0.73	-0.03	0.87	0.77	0.32	0.40	0.38	0.80	0.01		
④イベント・ドリブン	0.55	1.22	-1.68	1.53	0.36	1.84	1.46	1.23	1.12	0.29	1.96	-0.38		
⑤破綻債券	1.75	2.43	-1.14	1.09	0.01	1.35	1.73	1.42	1.77	0.98	1.43	0.46		
⑥グローバルマクロ	0.58	-0.13	-1.39	0.60	-0.78	0.43	0.79	0.30	0.39	-0.67	0.44	-0.25		
⑦債券アービトラージ	1.11	0.22	-1.48	0.58	-0.24	1.09	1.59	1.65	0.48	0.31	1.08	0.48		
⑧リラティブバリュー	0.63	0.05	-1.10	1.09	-0.81	0.94	1.06	-0.29	0.90	0.17	0.90	0.63		
⑨マネージドフューチャーズ	0.43	-1.38	-1.00	-0.40	-0.57	-0.47	0.64	0.54	0.71	-1.00	1.73	-0.83		
⑩国内株式(総合)	12.74	-2.33	-0.54	0.18	-2.35	8.94	-0.06	5.31	3.61	-5.72	-0.79	0.18		

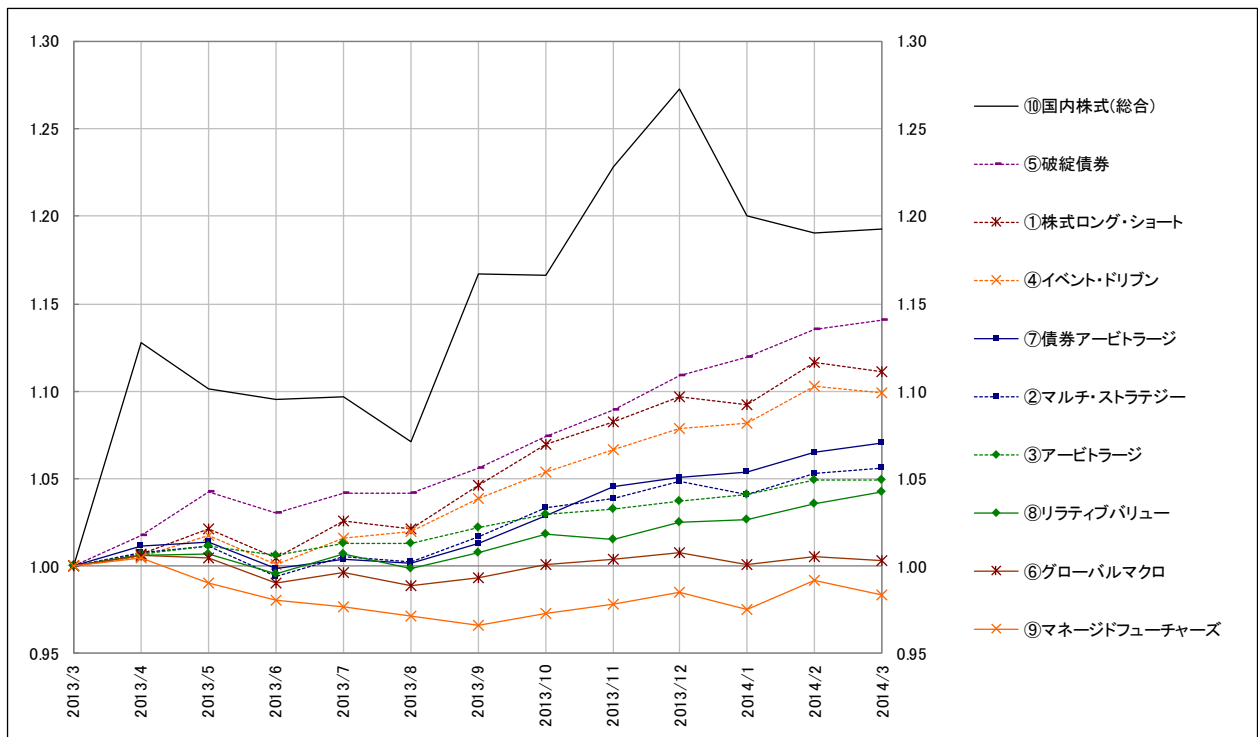
本資料は、信頼性の高いデータから作成されておりますが、当社はその正確性・確実性に関し、いかなる保証をするものでもございません。本資料は、情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。証券投資に関する最終判断は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料の著作権は当社に帰属し、本資料の転用および販売は固く禁じられております。

図表7 直近1年間のリターン・リスク

戦略	リターン (%)		リスク (%)		リターン/リスク比	
	値	順位	値	順位	値	順位
① 株式ロング・ショート	11.12	2	4.64	2.39	4	
② マルチ・ストラテジー	5.60	5	3.33	1.68	6	
③ アービトラージ	4.94	6	1.48	3.33	2	
④ イベント・ドリブン	9.87	3	3.61	2.74	3	
⑤ 破綻債券	14.07	1	3.29	4.28	1	
⑥ グローバルマクロ	0.29	8	2.34	0.12	8	
⑦ 債券アービトラージ	7.06	4	2.97	2.38	5	
⑧ リラティブバリュー	4.21	7	2.59	1.63	7	
⑨ マネージドフューチャーズ	-1.64	9	3.21	-0.51	9	
⑩ 国内株式(総合)	19.26	-	18.01	1.07	-	



図表8 直近1年間の指数の推移 (2013年3月末=1.0)



※ 図表1~5はユーリカヘッジよりNFI作成
 ※ 図表6~8はユーリカヘッジ、日興株式パフォーマンスインデックスよりNFI作成
 ※ 分析には2013年4月~2014年3月の月次リターンデータを使用
 ※ ヘッジファンド・インデックスの取得日は2014年4月21日

Appendix

- ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックス (Eurekahedge Hedge Fund Indices) は、ユーリカヘッジが保有するヘッジファンド・データベースのファンドを組入れている。
- この指数には 10 本の戦略別サブインデックスがあり、各戦略の概要は以下の通りである。

アービトラージ (Arbitrage)

異なる市場において、同一商品の価格が異なるという市場の非効率性を利用し利益を上げる戦略。

マネージドフューチャーズ (CTA / Managed Futures)

商品先物、オプション、先物為替取引に直接または商品投資顧問業者を仲介し投資する戦略。

破綻債券 (Distressed Debt)

財務、もしくは経営面で困難に陥った企業の債券に投資し、その後の企業の信用力回復に伴う債券価格の上昇から利益を上げる戦略。

イベント・ドリブン (Event Driven)

近い将来に予想される、もしくは起きる可能性のある企業の合併、公募増資、買収などのイベントを利用した戦略。

債券アービトラージ (Fixed Income)

フィクスト・インカム証券とそのデリバティブ商品においてロングとショートのポジションを組み合わせる戦略。

株式ロング・ショート (Long / Short Equities)

価格が上がる見込みの株式をロングし、逆に下がりそうな株式をショートし、相場のトレンドに左右されずに利益を上げる戦略。

マクロ (Macro)

トップダウン型のマクロ的な視野 (金利や通貨など) に基づいて投資ポジションを取る戦略。

マルチ・ストラテジー (Multi-Strategy)

複数の投資戦略を組み合わせた戦略。

リラティブバリュー (Relative Value)

アセット間のミスプライスを利用し、低リスクで収益を追求する戦略。

その他 (Others)

他のヘッジファンド戦略で使用されている多様な投資機会にアロケーションを行う戦略。

«以下にユーリカヘッジの免責事項を引用する»

Eurekahedge(“ユーリカヘッジ”)のデータは、各運用機関及び外部の情報を元に作成しております。ユーリカヘッジ及びその関係者は情報の正確性、完全性、市場性、仮定、計算などについて保証を行っておりません。情報の閲覧・利用者は、データの使用に際して、情報における全てのリスクを認識し、負う必要があります。ユーリカヘッジではデータ及び情報に基づきいかなる理由の損害に関しても責任を負いかねます。データは、特定のファンド、有価証券、または金融商品、企業への投資に関する勧誘或いは販売勧誘を構成するものではなく、また、金融機関や専門家としての助言として解釈されるべきではありません。Copyright © 2011 Eurekahedge Pte Ltd